

～花と緑の香りめぐり(5)～

熱帯雨林に香る花イランイランを求めて 板橋区立熱帯環境植物館を訪ねました



イランイランが咲きました

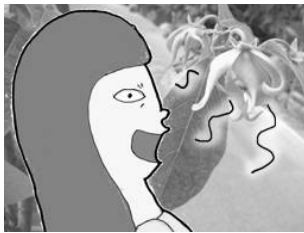
都営三田線「高島平」駅から徒歩5分ほど歩いた所に、東南アジアの自然を再現した植物館があります。

問い合わせをしてみると、ちょうどイランイランの花が咲いているということ。八月のある日、見に行ってみることにしました。

まだ赤ちゃんです

イランイランは、咲いたばかりでした。色は葉っぱと同じ薄みどり色で、大きさは3cmほどです。

本で見るイランイランの花は、黄色のリボンを束ねたタッセルのようです。色はマスタードのように濃く、大きさはこの写真の倍もあります。



香りは、成熟してからが◎

顔を近づけると、間違っても芳香とは言えないニオイがしてびっくり。オシッコくさいというのでしょうか…例えようがありません。

あとから調べてみると、イランイランの花は、成熟してきた頃にいい香りがするという事でした。

甘く爽やかな香り・オウソウカ

腑に落ちない気持ちでいると、スタッフの方が、オウソウカがよく香ると教えてくれました。

オウソウカの木に近づくと、甘い花の香りが漂っています。イランイランと同じバンレイシ科ということで、確かに香りの印象が似ています。



ホームページもご覧ください

こちらの熱帯環境植物館では、この2種類以外にも、いろんな香りの植物と出会いました。

その体験を、林泉のホームページでも詳しくご紹介しています。前後編にわけて、盛りだくさんにお伝えする予定です。



月例ワークショップ No.159

身近な素材で作る

くつろぎの入浴剤3種

キッチンやスーパーにあるものを利用して、入浴剤を作ってみましょう。

9月29日(日)13時15分～14時45分

新座栄公民館・2階児童室

参加費無料/予約不要/女性対象

フェイスタオル2本/足を出せる服装

おすすめアロマグッズ No.68



精油のしずく・イランイラン
(淡路梅薫堂)

イランイランの精油入りのお線香です。
9g/1199円。燃焼時間30分。

火を灯してみると、香りの主役はサンダルウッドでした。イランイランは、隠し味として利いているように思います。

燃え尽きて、香りはいっぱい残ります。
ご来店の際、焚いてお待ちしております。

編集後記

アロマセラピーでイランイランの精油というと、「イランイラン・コンプリート」が一般的。甘さからエグミまであらゆる成分が含まれて、いわばイランイラン完全版です。

一方、「イランイラン・エクストラ」は、蒸留して最初の数時間にとれる精油。極上の香りとなっています。

ただ今、どちらもサロンにご用意しています。どうぞお試しください。